

刻む会

たより

No.41

2010.10.13

長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会

代表 山口武信

事務局 宇部市常盤町一一一九(宇部緑橋教会内)

活動カンパ 振込先 ゆうちょ銀行 口座番号 01590-7-32405

追悼碑建立募金 名義 長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会
振込先 ゆうちょ銀行 口座番号 01370-9-986003

ホームページ <http://chouseikiizamukai.hpt.infoseek.co.jp/index.html>

「歴史的事実を次世代に

引き継ぐために」

長生炭鉱水没事故犠牲者追悼碑建立委員会

委員長 小川 信

鉱の“水非常”を歴史に刻む会の代表をしておられる山口武信さんが「宇部地方史

れ、いよいよ追悼碑

研究」第五号に「炭鉱における非常—昭和

建立のための具体的な取り組みを進

一七年長生炭鉱災害に関するノート」を発

ていくことになります。

表され、三四年目にその水没事故の実態が初めて明らかにされました。この発表を契

機に長生炭鉱水没事故を究明する活動が発

すことになります。

私がこの問題にかかわったのは一九九二年

ことになります。

(平成四)年当時、小郡のキリスト教会に行っていた母が、「長生炭鉱の水没事故犠牲者の追悼碑をつくる計画があるが、いろいろ

な問題が生じて建てる場所が確保出来ないで困っている」との話を聞き、衆議院予算委員会分科会でこのことを取り上げ、国、

地方自治体の協力・支援を求めました。そしてこの事業に賛同してご支援・ご協力して下さる方々と一体になつて、郷土宇部の良心、国際親善の発信の地としての追悼

論・報道規制が厳しく、長生炭鉱の水没事故による一八三人の犠牲も、台風による大被害も一部の人しか知らないままになつていました。

一九七六(昭和五二)年、現在、「長生炭



の皆さん努力により、建設用地を確保され、「刻む会」と私の関係の始まりです。それから一八年が経過した今日、「刻む会」

の建設に全力をつくす所存です。

海に沈んで六八年

今夏、山口県宇部市の長生炭鉱の水没事

故を調べるため現地を訪れた。「長生炭鉱の

「水非常」を歴史に刻む会」代表の山口武信さんと副代表の内岡貞雄さんが私たちを案内して下さいました。

海に沈んだ長生炭鉱

一九四二年二月三日、山口県宇部市西岐波海岸の長生炭鉱（海底炭鉱）で、朝九時半頃、坑口から約一〇〇〇m沖合の箇所から浸水が始まり、海水はあつという間に坑

内に押し寄

せ鉱夫たちを呑みこんだ。坑内は満水となり坑道の空気は水柱となつて海上のあちこちに吹

き上げた。犠牲者は全部で一八三人、そのうち一三七人が朝鮮人だった。全員が今も暗い海の底に眠っている。

草ぼうぼうの社宅跡

海岸の近くに坑口があるという。周囲は丈の高い雑草が生い茂つていて坑口の在り処も定かでない。山口さんは八〇歳とは思えないような軽い足どりで、草むらをかき分けかき分け坑口まで案内して下さった。坑口には一本の石の柱が横たわっているだけだった。ここから鉱夫たちは毎日、昼夜を分かたず海底に入つていき仕事を終えて帰つてきた。そしてあの日、入つたまま帰つて来なかつた一八三人。

この社宅群の片隅の一角に朝鮮人の寮四棟が作られ、強制連行してきた朝鮮人を押し込み、高さ三・六mの板塀で囲み厳しく監視していた。長生炭鉱には朝鮮人が多かつた。海底から炭層まで四〇m足らずと極めて浅い長生炭鉱は、出水の箇所も多く「危険な炭鉱」だったため、ここで働くこととする日本人は少なく、会社は出来るだけ多くの朝鮮人を集め働かせていました。板塀で囲まれた朝鮮人寮から脱走者が何人も出たとい

いう。炭鉱の最盛期には一〇〇〇人近くの朝鮮人鉱夫（一九四〇年 全鉱夫九五八人、うち

が広がっている。ここに社宅群があつたといふ。炭鉱の最盛期には一〇〇〇人近くの朝鮮人鉱夫（一九四〇年 全鉱夫九五八人、うち鉱夫（一九四〇年 全鉱夫九五八人、うち

う。草の生い茂る社宅跡のあちこちに淡い
ピンクの浜なでしこの花が咲いていて心が
なんだ。

社宅跡に立つ「長生炭鉱殉難之碑」

社宅跡の片隅に「長生炭鉱殉難之碑」が立っていた。碑文には「永遠に眠れ 安らかに眠れ 炭鉱の男たちよ」と書かれていて、水没事故から四〇周年の一九八二年に地元の有志で建立となつていて。山口さんはこの碑を見た時「犠牲者ひとり一人の名前を刻み、朝鮮人とその遺族に対し日本人としてお詫びの言葉を入れた碑を作るべきではないか」と考えたそうです。長生炭鉱の水没事故は、二カ月前からの出水兆候を無視していた人為的原因によるところ大だつたため、国（軍部）が緘口令をしき公にしてこなかつた。水没事故から三四年目の一九七六年、宇部の地方史の雑誌に論文を寄せて長生炭鉱水没事故の実態を初めて「おおやけ」にした山口さん。今、新しい追悼碑建立の先頭に立つておられます。

海に突き出た二本のピーヤ
社宅跡から海岸の方へ歩いていく

社宅跡から海岸の方へ歩いていくと、坑口から海に向かつて一直線上、海上に間隔をおいて大きな円筒が二本突き出ていた。

現地見学を終え、昼食を一緒した時、お二人から韓国の独立記念館に展示されて いる長生炭鉱の水没事故の様子を描いた絵 (コピー) を見せていただきました。「日本 でも」という思いです。

かに眠れ 炭鉱の男たちよ」と書かれてい
て、水没事故から四〇周年の一九八二年に
地元の有志で建立となつている。山口さん

「はこの碑を見た時、犠牲者ひとり一人の名前を刻み、朝鮮人とその遺族に対し日本人としてお詫びの言葉を入れた碑を作るべきではないか」と考えたそうです。長生炭鉱

すぐ近くの住宅地の中ほどに念願の土地を入手されて、いよいよ追悼碑建立の準備に入つていらっしゃいます。一本のピーヤが望める場所です。

٣٦

塚田惠子

- 3 -

無視していた人為的原因によるところ大だ
つたため、國（軍部）が緘口令をしき公に

してこなかつた。水没事故から三四年目の一九七六年、宇部の地方史の雑誌に論文を寄せて長生炭鉱水没事故の実態を初めて公^{おおやけ}にした山口さん。今、新しい追悼碑建立の先頭に立つておられます。

犠牲者一八三人の位牌は近くの西光寺に安置されているのですが、朝鮮人の本名を調べるのもなかなかの苦労で、いまだに本名の分からぬ人が何十名かいらつしやるそうです。また、日本人犠牲者の中には沖縄出身者も五名含まれているとのことでした。一八三人の方のそれぞれの人生が偲ばれてなりませんでした。

東京】お住まいの塚田さん夫妻が、八月三日フイールドワークに来られました。お二人は、その感想を『日朝協会 機関紙 東京都連合会版』「日本と朝鮮」(二〇一〇・九・一 第八百五号 九月号)に投稿されています。その原稿を1)本人の了解を得て、転載させていただきまし
た。

公にした山口さん。今、新しい追悼碑建

一八三人の方のそれぞれの人生が偲ばれて

韓国「強制併合」一〇〇年の夏に

北九州市 ■ 内岡貞雄

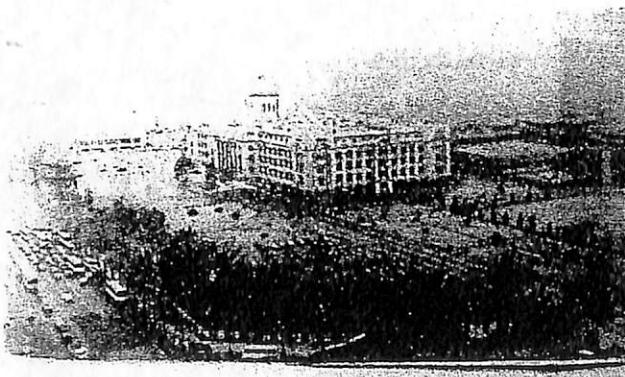
宇部市出身の菅直人首相は、一〇一〇年八月一〇日に談話を発表しました。おおむね次のような談話でした。「ちょうど一〇〇年前の八月、日韓併合条約が締結され、以後三六年に及ぶ植民地支配が始まりました。当時の韓国（大韓帝国）の人々は、その意に反して行なわれた植民地支配によって、国と文化を奪われ、民族の誇りを深く傷付けられました。こうした植民地支配がもたらした多大の損害と苦痛に対し、改めて痛切な反省と心からのお詫びの気持ちを表明いたします。」さりに加えて、日本政府が保管する朝鮮王朝儀軌などの図書を近く韓国に渡すことも表明しました。談話は、私の個人的な意見ですが、在日コリアン、強制連行被害者の言葉を使っての「お詫び」があれば、…と思いました。

一方、韓国の知識人はもう抽象的な「お詫び」でなく、植民地時代の個人補償について何ら明確な言及もなかつたと厳しいコメントを寄せていました。

【日本政府や日本人を許せない訳】

一〇〇九年十月、私は個人的に遺族会の孫鳳秀（ソン・ボンス）さんにお会いする機会がありました。長生炭鉱水没事故犠牲者一ハ三名（うち朝鮮人犠牲者は一三七名、日本人犠牲者四六名）について、日本人犠牲者を含めることに躊躇される理由が少し理解できました。坑内の日本人には監督役や一方的な命令を押し付ける係りの人があ

いたでしょう。そういう方々に向かってチエーザは出来かねるというのはわかりました。私が孫さんからお聞きしたのは、もつと広く一般的なことで「日本政府も一般の日本人も過去の事を反省していないし、謝



写真①

右奥の景福宮の前に建てられた朝鮮総督府

罪もしていない」ということでした。その一つは、韓国の伝統遺産の王宮（景福宮）の前に朝鮮総督府を建て、光化門（クァンファムン）の正面から王宮を見えなくしたことです。朝鮮国王（大韓帝国の皇帝）の存在を抹殺しようとしました。（写真①）東京の皇居を塞いで朝鮮王宮が出来たらどう思いますか？私はそう考えたことは今まで一度もありませんでした。

もう一つは、日本帝国は軍事目的のためなら、韓国・朝鮮人が祖先を敬い、供養を怠らないお墓を掘り返しても何らの痛みも感じていませんということです。各地で何百という墓が掘り返され、軍用地に利用されました。が、そんな非道な行為を日本政府は何らの謝罪もせず、日本人もこうした事実を知らない（知らざない政府に抗議もしない）のではないですか。日本人の「過去の歴史」に対する姿勢を的確に批判しています。私は、「こうした孫さんの思いや遺族の皆さん深い思いを受け止めていく大切さを痛感しました。

【海の底の長生炭鉱と浮島丸殉難六五周年追悼集会 8・24】

今夏は山口代表の案内により長生炭鉱フィールドワークを三回行いました。ピーヤの劣化はかなり進行しているようです。（写

裏②)ピーヤに向かって一ハ三名の犠牲者と韓国の遺族の方々の「悔恨(ハン)」のお気持ち」を思いながら、しばし黙想しました。

また、長生炭鉱(一九四〇年当時、労働者約一〇〇〇人)の島瞰図が山口代表のアドバイスや画家の濱野清勝さんのご協力で完成しました。(写真③)一つ一つの証言などを検証しながら、長生炭鉱の「歴史的事実」を積み上げてゆかなくてはならないと思います。

浮島丸事件とは、一九四五年八月一一四日午後五時一〇分、下北半島の大湊港をでて、釜山港に帰還しようとしていた浮島丸が(GHQの指令により)舞鶴湾に入港中に爆沈し、朝鮮人家族を含む五百二四人(政府発表)と乗組員二五人が犠牲となつた出来事です。「触雷」か、「自爆」か、原因は特定されていませんが、今年六五周年の追悼式に参加しました。今回、はじめて韓国から追悼団十六人が参加され、大きな連帝の輪ができることを参加者で喜び合いました。しかし、この追悼集会には遺族の方たちの「挨拶も紹介もありません。遺族の方たちの中には裁判闘争を終え、遺族会が結成されていませんが、その動きは少しうつ出てきていると聞いています。

【韓国の有名な作家 韓水山(ハン・スサン)「軍艦島」著者の講演 8・10】

韓さんは穏やかな韓国語で話をはじめました。反日思想に染まっていた韓さんが、日本を見直すキッカケは、京都の観光で親切にも木の名前を一度ならずも、追っかけ来られ訂正した名を教えてくださった女性にはじまり、「原爆と朝鮮人」の本を手にした「私」韓を熱心に指導して教示くださった長崎の岡正治牧師(故人)や軍艦島で酷使され長崎造船所で被爆した在日一世の徐正雨(ソ・ジョンウ)さんたちでした。日本人の中に良心を持つた方々は少なくないという韓さんの思いは、この小説「軍艦島」に登場する日本人からもお分かりになると思います。

今年は韓国「強制併合」100年にあたり、韓流ブームは日韓の文化を急接近させました。「私」は韓国から一緒に来た若者と長崎の軍艦島、岡まさはる記念長崎平和資料館、住吉トンネル跡、8・9平和集会に参加してきました。今、ソウルを訪れる日本の若者たちにどこに行きたいかと尋ねたら、南大門市場やロッテワールドなどの場所が返ってくるだろうと思います。「私は、ある講演会で日本の若者たちに「これから

と喉まで出かかりましたが、現状を思うと言えませんでした。

日本人として、「過去の歴史に学び、過去の清算を真剣に考えること」を再認識させられた講演であり、小説「軍艦島」の内容でした。



山地番で所有者不明

写真③ 一九四〇年頃の長生炭鉱

従業員1000人という

「海に流んだ炭鉱」フィールドワーク

2010年7月31日(土)

午前10時～12時

長生浜中集会所にて開催



位牌を並べる子供達

～ 内容 ～

- ①位牌を並べる
- ②炭鉱についての説明・炭鉱クイズに挑戦！
- ③紙芝居「アボジは海の底」
- ④韓国の文化を学ぶ（ひとつことハングル語講座）
- ⑤献花



紙芝居の様子



炭鉱についてのお話



韓国の文化を学ぶ



献花をする参加者

フィールドワーク参加者アンケート集計結果紹介



今回、初めての試みで、参加者にアンケート記入をお願いしました。

参加者全員の方からは提出いただけませんでしたが、アンケート集計の一部をご紹介いたします。

Q どこでどのように知りましたか？（できれば具体的に。いつ、どこで）という質問に対しては…

- ・小学生のころ
- ・フィールドワークで。10年位前。西岐波小から住宅地へ行った。
- ・おととし、フィールドワークに参加して知った。
- ・学校で社会の授業で習った。
- ・防府教会に着任してから知りました。
- ・親に聞かされて。

Q どの企画が印象に残りましたか？という質問に対しては…

①炭鉱についてのお話、②紙芝居、③韓国の文化を学ぶ の順で好評でした。

☆参加者の年齢層は…

小学生以下のお子様を始め、小学生、高校生、20代～70代と様々な年代の方にご参加いただきました。

☆ご意見・ご感想

- ・大変、勉強になりました。
- ・紙芝居が分かりやすかった。
- ・具体的に話されてよくわかったのでよかったです。小さい子どもさんも多く参加されていてよかったです。場所が逆行になっていて、わかりにくかったのが残念でした。
- ・これからもいっしょに協力していきたいです。
- ・2年ぶりの参加でした。とても良かったです。韓国文化の学びは、短い時間で多くのことを学ぶことが出来ました。ありがとうございました。紙芝居の中で、「オモニ」を「オンマ」と言い換えられましたが、「アボジ」は「アッパ」という言い方があるとのことです。場面によっては「アッパ」の方が良いと思いました。来年も是非土曜日に開催して下さい。カムサハムニダ。

ご訃報のお知らせ



長年「刻む会」と共に活動にご尽力くださった表基秀（ベ・キス）さんが、去る四月一七日（土）亡くなられました。本当に残念に思います。
次ページに、島敵史さんの追悼文を載せてありますのでご覧下さい。

裴 基秀さんを偲んで

島 敵史

「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」で長き年月に亘り私たちと共に活動してきた裴基秀（ベ・キス）さんが、去る四月一七日（土）に享年八十四歳にてお亡くなりになりました。翌一八日（日）午後七時から在日大韓基督教会宇部教会で前夜式、一九日（月）の十一時から同協会で告別式が行われ、多くの親しい方々に送られて天に召されました。

裴さんは、同教会の長老を長年に亘って勤められ、今日ある教会の礎を作られた方であり、その韓国教会と、私の在籍している宇部緑橋教会とは、古い昔から長い年月の間、親しい関係を続けてきたわけですから、私と裴基秀さんとの出会いも古く、本当に長い年月に亘つて親しい交わりを続けさせて頂いて参りました。

一九八五年六月、宇部市役所において、宇部在住の三名の韓国青年が指紋押捺を拒否しましたが、その三人の中の一人が、裴基秀さんの息子さんでした。ということもあり、その年の六月一六日に澄田先生を中心にして私たちは「外登法改正要求と指紋押捺拒否者を支援する会」を発足させたのでした。市民運動という点で、裴さんと一緒に活動を始めたのはその時からでした。今から丁度二十五年前ということになります。

一九九一年三月、「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」を発足させてからの働きは皆様もご承知の通りです。

長生の会が先ず最初にしたことは、犠牲者宛

に「死者への手紙」を出したことです。これに二十三通の返信があり、ここで初めて遺族の方々との接触がされたということです。一九九二年五月、韓国のご遺族に対し初めての招聘状をお送りし、同時に遺族招聘のための募金を初めて行いました。これに応えて、八月韓国より二名、そして京都在住の遺族、李元宰（イ・ウォンジエ）さんの三人がいらして下さり、ピーヤの見える現地海岸で涙を流されました。そしてその翌年一九九三年二月一日、私たちの招きに応じて初めて十二名の韓国遺族を迎えて現地海岸で追悼式を行つたのです。以後、毎年、水非常の起きた二月三日前後に、韓国から七～十二名の遺族をお招きして追悼集会を行つて参りました。

裴基秀さんは、最初から韓国への招聘状その他の手紙の韓国語訳、そして毎年来宇される遺族と私たちとの間の通訳の役割をずっと変わらず勤めて下さいました。

また詳細はさけますが、山口先生を始めとして刻む会の会員が、これ迄に一九九四年五月、一九九六年四月、二〇〇一年十二月、二〇〇六年十月と四回、韓国を訪れ、遺族会総会に出席したり、新しく見出された生存者の方々とお会いしたりして居りますが、そのいずれにも裴さんは同行し、通訳の役割を果たして下さいました。

また逆に一九九七年、東亜日報記者取材の来

宇、二〇〇一年釜山の金文吉（キム・ムンギル）教授來宇、二〇〇四年二月、韓國國營放送KBSスタッフ來宇、二〇〇五年四月、韓國政府の朝鮮人強制連行調査団が現地視察、二〇〇六年十月、二〇〇七年二月、二〇〇八年三月、日帝

強占下被害者真相究明委員会の方々が来宇、現地調査をされましたが、その様な時には全て通訳として奉仕して下さいました。この様な方裴さんを失つて本当に寂しく、残念でなりません。

私達の長生の運動を長年に亘り支えてください、そしてご自分では飯塚周辺の旧炭鉱跡から在日朝鮮人の遺骨を集めて「無窮花堂」を建立された裴来善（ベ・レスン）さんを訪れて、何度もご一緒に私の車で飯塚を訪れたことは、とても懐かしい思い出です。その行き帰りの車の中では、裴さんはご自分の信仰のこと、韓国教会のこと、ご家族のことなどを語つて下さったことをとても懐かしく思い出します。

またこれは私事ですが、私の娘、晶子は韓国の青年、甲鉱と結ばれて現在オーストラリアのシドニーに住んでいますが、二〇〇一年と二〇〇六年、韓国の遺族会を訪問した際、夜、時間を割いて下さり、大邱の甲鉱の実家を訪ね、ご両親、姉弟達と会つた時にも、裴さんは通訳をつとめて下さり、私たちはとても助けられ、幸せな時を過ごさせていただいたことは感謝の限りです。

本当に様々な局面、出会いでの裴基秀さんの思い出は私の中では大きくふくらんで、忘れることは出来ません。

神様のもとでゆつく

りお休み下さい。



「刻む会」活動日誌

三月 四日（木）朝日新聞取材

一二日（金）街頭宣伝

一九日（金）事務局会議

二〇日（土）『平和のつどい』でアピール

（男女共同参画センター）

六月一七日（木）

事務局会議

二五日（金）

第三回建立委員会

七月三日（土）

事務局会議

九日（金）

市役所との交渉

一七日（土）

事務局会議

二四日（土）

在日朝鮮人歴史・

五月五日（水）宇部新川まつり

四月二日（金）宇部市役所と交渉

一五日（木）街頭宣伝

二三日（金）事務局会議



6/5 参加者による記念撮影



八月三日（火）塚田勲・恵子夫妻

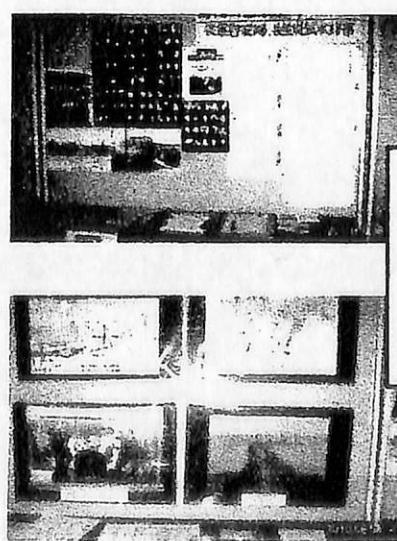
フレーリードワーク
(2~3ページに報告)

八月七日（土）事務局会議

八月八日（日）「平和のための戦争展」
(山口市民会館展示ホール)

一〇日（火）

パネル展示



八月一二日（木）宇部市役所と懇談

二九日（日）「日韓併合一〇〇周年」

記念公演にて報告

（小郡ふれあいセンター）

五月七日（金）第二回建立委員会開催

二七日（木）事務局会議

六月五日（土）福岡人権研究所主催
フレーリードワーク

フレーリードワーク

七月二七日（火）集会参加者が長生現地見学

七月三一日（土）フレーリードワーク

（6~7ページに報告）



↑
山口会長による報告

九月四日（土）事務局会議

二四日（金）第四回建立委員会

追悼碑建立のための募金に ご協力よろしくお願ひします！

目標額は 2000 万円！現在、碑のイメージなど、具体的な中身を事務局会議の中で検討中です。建立予定地が住宅地の中にあるからこそ、末永く、皆様に愛される場所にしたい、もちろん、韓国から遺族が来られても喜んでいただけるように・・・と考えています。

事故から 70 周年の 2012 年には少しでも形の見えるものにしたいのです！

皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。



追悼碑建立募金会計報告（2009年4月21日[土地購入]～2010年9月30日）

収 入			支 出		
科 目	金額	備考	科 目	金額	備考
カンパ	2,515,065	182 件	事務費	15,600	
雑 収 入	3,000	電柱設置場所貸与	委員会費	7,140	会場費
借 入 金	6,000,000	「刻む会」事務局員より	管理費	1,195	
縁 入 金	1,430,000	「刻む会」事務局員より	雜 支 出	8,930	郵便振替手数料他
			建 立 費	7,639,130	土地取得・更地工事費他
			税 金	301,681	取得税・固定資産税
			残 高	1,959,519	
合 計	9,948,065	//	合 計	9,948,065	

※前回の会計報告では、募金してくださった方々のお名前を事務局の方で勝手に掲載してしまい、誠に申し訳ありませんでした。今後は、募金の際（振込用紙）に公表の有無を明記していただき、それを元に、「刻む会たより」に、公表可の方はお名前、公表希望されない方は合計口数のみの掲載とさせていただきますので、ご了承下さい。

いよいよ、碑の具体的イメージができつつあります。次の世代に歴史をつないでいくために、何としても完成させていきたいと思っております。

今後とも、皆様ご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。